

特別支援学級（Ⅰ部）

学びのカテゴリー「遊び・生活づくり」



1・2年4組は、身近な新聞紙、紙コップ、洗濯ばさみなどを使って遊ぶことを通して、身近な仲間や教師と遊ぶことの楽しさを気付くようになった。遊ぶ中で、仲間と一緒に遊びたいときに、どのような声をかけるとよいのかが分かり、少しずつ仲間と関わりながら遊ぶことができるようになってきた。また、「服に付けてみたら楽しそう。」と遊び方を考える姿も見られ、遊びの楽しさに浸ることができるようになってきた。

3・4年4組は、野菜の世話に関することを先生や先輩に聞いたり、一緒に活動したりすることを通して、協力することの大切さに気付くようになった。クラスで考えても、分からないことを野菜作りの得意な先生や8・9年4組に話を聞きに行った。また、8・9年4組と一緒に畑の雑草を取る活動を行った。この活動から、自分で分からない・できないときには、周りにいる人と協力することがよいのだと気づき、「一緒にやろう」や「こうするといいよ」などの声かけが増えてきている。



豊吉 章孝
土生 雄一

1・2年4組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：遊び・生活づくり（全140時間）

特別支援学級 第1・2学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		自分の願いをもち、遊び方や遊ぶものを考え、思う存分遊びに取り組み、楽しむことができるようにする。										
	(2) 関係構築力に関わって		仲間や教師と一緒に遊び、仲間と関わることのよさを感じたり、仲間や教師と親しみ、関わりを深めたりすることができるようにする。										
	(3) 貢献する人間性に関わって		交流学級や特別支援学級の仲間を遊びに招待し、遊びを進めながら一緒に楽しもうとする態度を養う。										
カテゴリー設定の理由	自分一人で願いをもち遊ぶところから、学級、学年へと、遊ぶ仲間が広がる。遊ぶ仲間が広がることで、一緒に取り組むよさを感じる。遊ぶ過程において、仲間と仲良く遊ぶためにどうするとよいか、よい姿をまねして、願いを実現していく。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	善悪の判断、自律、自由と責任・節度、節制・親切、思いやり・感謝・友情、信頼・規則の尊重・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実												
学びを構成する要素	人（自分、仲間、先生）もの きまり 楽しさ できた喜び 達成感 心地よさ 仲間の広がり 仲間喜んでくれた喜び 自分の成長												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名 (時数)	「身近な仲間や先生と遊ぼう」(48時間)					「仲間と一緒に遊ぼう」(60時間)				「仲間を招待して遊ぼう」(32時間)			
主な学習活動	「新聞紙で遊ぼう」 「紙コップで遊ぼう」 「洗濯ばさみで遊ぼう」 「遊戯室で遊ぼう①」 ○遊ぶことに没頭し、精一杯遊ぶ。 ○身近な仲間や先生と遊ぶことの楽しさに気付く。					「シャボン玉で遊ぼう」 「ブロックで遊ぼう」 「当てる遊ぼう」 「遊戯室で遊ぼう②」 「誘って遊ぼう」 ○どんな遊びをしたいか願いをもち。 ○遊びに必要なものを自分たちで作る。 ○願いに沿って、思う存分遊びに取り組む。 ○仲間を誘って一緒に遊ぶ。				「遊びを考えよう」 「遊び場を作ろう」 「しょうたいしよう」 「遊びをふり返ろう」 ○これまでの遊びを振り返る。 ○誰を招待したいか、何をして遊びたいかを決める。 ○遊びの場を仲間と協力して作る。 ○招待する仲間と一緒に遊ぶ。 ○1年間の遊びを振り返る。			
想定される ●ジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】	■上手くできない ●もっと遊びたいけれど、終わりの時間だけ止めたくない。 ■仲間と一緒に遊びたいけれど、どうやって声をかけたらよいか分からず、声をかけられない。 ●仲間と使いたい道具が重なってしまう。こういうときは、どうしたらよいか悩む。 【善悪の判断、自律、自由と責任・節度、節制・規則の尊重・よりよい学校生活、集団生活の充実】					■上手くできない。 ●～したいけれど、どうしたらよいか分からない。 ●仲間～したいけれど自分のしたいことがつかぬ。どうしたらよいか困る。 ■仲間と一緒に遊びたいけれど、どうやって誘えばよいか分からず、誘えない。 ■遊びを作ったけれど楽しくなかった。もっと楽しい遊び場にしたい。 【善悪の判断、自律、自由と責任・節度、節制・親切、思いやり・感謝・友情、信頼・規則の尊重・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実】				●みんなで決めた遊ぶ計画と自分のやりたい遊びと違う。 ●楽しく遊びたいけれど、自分のしたいことと仲間のしたいことが違う。 ■招待した仲間と遊びたいけれど、どうやって関わればよいか分からない。 【節度、節制・親切、思いやり・感謝・友情、信頼・よりよい学校生活、集団生活の充実】			
人材活用 施設	・先生 ・学級の仲間 ・上級生の仲間 ・身近な場所（教室、遊戯室、畑など）					・先生 ・学級の仲間 ・4組の仲間 ・身近な場所（教室、遊戯室、運動場など）				・先生 ・学級の仲間 ・4組の仲間 ・同学年の仲間 ・家族 ・身近な場所（教室、遊戯室、運動場、畑など）			
教科等との関連	・図画工作：紙コップとなかよし クレヨンとなかよし					・算数：数えよう いろいろな形 ・図画工作：しんぶんしとなかよし ダンボールで作ろう・遊ぼう				・国語：てがみでしらせよう ともだちのことをしらせよう			

1・2年4組 単元シート 単元名 仲間と一緒に遊ぼう (60)	本単元の目標		
	問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
	自分の願いをもって思う存分遊びに取り組む中で、遊び方を工夫して楽しむことができるようにする。	遊ぶ中で、仲間を誘ったり仲間の誘いに応じたりしながら、一緒に活動ができるようにする。	自分たちの遊びに、4組の仲間や学年の仲間を招待し、仲間とともに楽しもうとする態度を養う。

活動の計画	「シャボン玉で遊ぼう」	「ブロックで遊ぼう」	「当てて遊ぼう」	「遊戯室で遊ぼう②」	「誘って遊ぼう」
加筆修正欄	<ul style="list-style-type: none"> シャボン玉の作り方を知り、シャボン玉を作って遊ぶ。 たくさんのシャボン玉、大きいシャボン玉などを見て、そのための道具作りをする。 色々なシャボン玉を作って遊びながら、仲間の遊んでいる様子を見る。 元通りに片付ける。 活動を振り返り、次の見通しをもつ。(10) 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックを重ねたり、積んだりする。 ブロックを少しずつずらしながら高く積む。 ブロックを色や形で分けて置く。 ブロックの上を歩き、並べ直す。 元通りに片付ける。 活動を振り返り、次の見通しをもつ。(10) 	<ul style="list-style-type: none"> ボールを転がして的に当てる。 滑り台などを用いて、ボールを高いところから転がして的に当てる。 的に自分たちで作る。 作った的に見合い、並べて当てて遊ぶ。 元通りに片付ける。 活動を振り返り、次の見通しをもつ。(10) 	<ul style="list-style-type: none"> 願いをもち、どのような遊びコーナーを作るか相談して決める。 遊び場を作りながら、遊ぶ。 遊びながら、他のものに見立てて遊ぶ。 遊びの様子を振り返り、次への願いをもつ。 元通りに片付ける。 活動を振り返り、次の見通しをもつ。(15) 	<ul style="list-style-type: none"> 誘いたい仲間を決めて、招待状を作る。 仲間を誘って、一緒に遊ぶ。 自分たちの遊び場で、どう遊ぶかを仲間に見せたり、一緒に遊んだりする。 誘って一緒に遊べた経験をもとに他の仲間を誘って遊びたいと願いをもつ。 活動を振り返る。(15)
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> 遊ぶことに没頭する。 教師や仲間に「一緒にやろう。」と誘う。 仲間の誘いに応じて遊ぶ。 道具を取り合う。 もっと遊びたいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊ぶことに没頭する。 教師や仲間に「一緒にやろう。」と誘う。 仲間の誘いに応じて遊ぶ。 もっと遊びたいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊ぶことに没頭する。 教師や仲間に「一緒にやろう。」と誘う。 仲間の誘いに応じて遊ぶ。 もっと遊びたいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊ぶことに没頭する。 教師や仲間に「一緒にやろう。」と誘う。 仲間の誘いに応じて遊ぶ。 遊びに満足し、この思いを他の仲間と共有したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが楽しんできた遊び方を、やって見せる。 仲間が遊んで、楽しんでいる様子を見てうれしい気持ちになる。 もっと仲間を誘いたいと思う。
実際の姿					
■エラー ●ジレンマ	<ul style="list-style-type: none"> ■ シャボン玉が上手くできない。 ● もっと大きいシャボン玉を作りたいけど、どうしたらいいのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● もっとたくさんブロックが欲しいけど、仲間も使っているから、どうしたらよいか困る。 ● 仲間と一緒に遊びたいが、どうやって誘えばよいか悩む。 ● 自分は、～したいけど、仲間と考えが合わない。どうしたらいいのかわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ～なコースにしたいけど、上手くできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● もっと工夫したいけど、どうすればいいのかわからない。 ■ 遊び場を作って遊んでみたけれど、もっと楽しい遊び場になりたいと感じる。 	

1・2年4組 本時案

(1) 目標

遊戯室で仲間と遊ぶことを通して、これまで遊んできた経験を基に、さらなる願いをもって遊び場を工夫して作り、楽しむことができるようにする。(問題解決力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

これまでの遊んできた経験を基にして、さらに「～したい。」「～に変えたら楽しく遊べそう。」という願いをもって、遊び場を工夫して作る。(よりよい学校生活、集団生活の充実)

本時 (38/60)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け		
	1年A児・1年B児・1年C児	2年D児・2年E児	2年F
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の見通しをもつ</p> <p>○前の時間、どんなことをして遊んだのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを使って、迷路を作って遊んだよ。 ・～さんと一緒に、ボールあてコースを作って遊んだら、楽しかったよ。 ・木の家に入ると、隠れられて楽しいよ。 ・みんなで入れるともっと楽しそうだね。 ・大きな木の家を作って、みんなと遊びたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もっと おおきな きの いえを つくって あそぼう。</p> </div>	<p>○本時の活動の願いを確認するために、前時の終末で確認したことを想起する場面を位置付け、本時の活動が分かるようにする。</p> <p>○前の時間に取り組んだことを想起できるように、写真などを提示する。</p> <p>○本時の活動内容が具体的に分かるような課題を示し、活動の内容を短い言葉とイラスト等で示し、活動の見通しをもてるようにする。</p>	<p>○写真を提示し、個別に確認をし、本時の方向付けをする。</p> <p>○本人の得意なことを生かした活動になるように、活動内容を予め提案したり、確認したりする。</p> <p>○仲間とともに活動ができるように、教師が寄り添う。</p>	<p>○仲間と協力して取り組む必然を生み出すために、大きなダンボールと扱い、木の家を作る活動を位置付ける。</p> <p>○児童の「～したい。」という願いを仲間と共有して、どうしたらよいかを相談するように促す。</p> <p>○仲間の願いを「□□さんは、～したいって言ってるよ。」と言葉がけをし、一緒に取り組めるように促す。</p> <p>○工夫して遊ぶことよさを実感できるように、できた木の家を遊戯室内に設置し、遊ぶ時間を十分設ける。</p>
<p>2 遊戯室へ移動し、仲間や教師と一緒に作って遊ぶ</p> <p>○みんなで木の家を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木に絵を描きたいな。 ・窓を付けたら楽しそう。 ・高いところにも窓を付けたいけど、どうしたらいいのかな。 <p>○木の家ができたから、みんなで遊ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで木の家に入ると楽しいよ。 ・高いところから外をみると、おもしろい。 ・他の場所から木の家を見たら、ステキだね。 ・遊んでみたけれど、もっと楽しくなるようにしたいな。どうしたらいいのだろう。 	<p>○仲間とともに活動に参加している姿を価値付ける。本人でできそうな活動を提案し、教師が支援をしながら活動に取り組めるようにする。</p>	<p>○活動に自分から取り組めるように、本人が得意な活動に取り組む姿を価値付ける。</p>	<p>○仲間とともに活動した姿を価値付ける。</p> <p>○本人の今日の活動を仲間へ伝えるように、作ったり遊んだりしている場面の写真を示し、楽しかったことを確認する。</p>
<p>3 本時の学習を振り返り、次の時間の見通しをもつ</p> <p>○今日の楽しかったことは何かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが入れる木の家を作ったよ。みんなで入れると楽しいよ。 ・木の家を描いて、飾りつけをしたよ。 ・次は、もっと木の家を飾りつけしたらおもしろくなると思うな。 <p>○次の時間は、もっと飾りつけをして、みんなの家にしよう。</p>	<p>○本人の今日の活動を仲間へ伝えるように、作ったり遊んだりしている場面の写真を示し、楽しかったことを確認する。</p>	<p>○本人の頑張りを仲間へ伝えられるように、木の家作りで自分が取り組んだ場所を指差して紹介するように促す。</p>	<p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>さらなる願いをもって遊び場を工夫して作り、楽しんでいる。(問題解決力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び場を作り、それをういて遊んでいる姿や、仲間とかわす表情を見届ける。 ・遊んでいるときに発する言葉や、本時の振り返りの場での感想から見届ける。

3・4年4組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：遊び・生活づくり（全105時間）

特別支援学級 第3・4学年の目標	(1) 問題解決力に関わって 自分の願いをもち、遊びを決めて実行したり、どんな野菜を作り、収穫した野菜をどうしたいかを考えることができるようにする。											
	(2) 関係構築力に関わって 仲間や先生と相談し、役割分担をするなどして協力しながら活動に取り組むことができるようにする。											
	(3) 貢献する人間性に関わって 交流学級の仲間や特別支援学級の仲間へ自らはたらきかけ、ともに楽しもうとする態度を養う。											
カテゴリー設定の理由	自分が育てたい作物を作り、収穫したものを仲間と共有する活動を通して、自分の活動は自分だけでなく、周りの仲間も喜ぶことができることを経験をする。その経験をもとに、仲間とよりよい関係をつくるために自分にできることはないかを自分なり考え、その願いを実現していく。											
学びの基盤となる道徳的諸価値	善悪の判断、自律、自由と責任・個性の伸長・希望と勇気、努力と強い意志・親切、思いやり・感謝・友情、信頼・相互理解、寛容・規則の尊重・勤労、公共の精神・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団生活の充実・自然愛護											
学びを構成する要素	人（自分、仲間、先生） 畑 達成感 心地よさ 仲間と力を合わせて 収穫への期待 貢献 仲間喜んでくれた喜び 自分の成長											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名(時数)	「育てたい夏野菜を決めよう(畑の手入れ)」(25時間)		「全員で遊ぼう①」(12時間)	「夏野菜を収穫しよう。収穫した夏野菜で楽しもう」(8時間)		「育てたい秋冬野菜を決めよう(畑の手入れ)」(13時間)		「全員で遊ぼう② かくれがをつくろう」(25時間)		「秋冬野菜を収穫しよう。収穫した秋冬野菜で楽しもう」(10時間)	「全員ののために、できること」(12時間)	
主な学習活動	<p>「去年の畑での活動を振り返ろう」</p> <p>「育てたい野菜を決めよう」</p> <p>「収穫した野菜で何をするか決めよう」</p> <p>「野菜の育て方を知ろう」</p> <p>○これまでの畑での活動を振り返る。</p> <p>○自分や全員で育てたい野菜を決める。</p> <p>○収穫した野菜で何をするか、アイデアを出し合う。</p> <p>○苗植え・水やり・草取りといった手入れの流れをつかむ。</p>		<p>「ルールを守って、全員で遊びをしよう」</p> <p>「仲間と優しく接しよう」</p> <p>○先生の手本から、遊びのルールを習得。</p> <p>○遊びに一人で、ペアで、全員で取り組む。</p> <p>○全員が楽しめるように仲間に優しく接する。</p>	<p>「育てた野菜を収穫しよう」</p> <p>「収穫した野菜を食べてみよう」</p> <p>○育てた野菜を収穫する。</p> <p>○食べる・遊ぶ・紹介するなど、決めたことを実践する。</p>		<p>「夏野菜を収穫するまでの学習を振り返ろう」</p> <p>「育てたい野菜を決めよう②」</p> <p>「収穫した野菜で何をするか決めよう②」</p> <p>○前期での経験をもとに、自分の考えをもち、話せるようにする。</p> <p>○前期での経験をもとに畑の手入れを見直しをもち、自分が何をやりたいか願いをもち、行動に移す。</p>		<p>「全員が楽しくなるゲームを決めよう」</p> <p>「楽しくなるために、必要な役割や道具などを考えよう」</p> <p>「考えたゲームに下級生を招待しよう」</p> <p>○遊びでゲームをする活動を通して、仲間ともっとたのしく遊びたいと願いをもち、</p> <p>・楽しい遊ぶために、役割を決め、必要な道具を考え、用意する。</p> <p>○下級生の仲間を招待し遊びの楽しさを共有する。</p>		<p>「育てた野菜を収穫しよう②」</p> <p>「収穫した野菜を食べてみよう②」</p> <p>○育てた野菜を収穫する。</p> <p>○食べる・遊ぶ・紹介するなど、決めたことを実践する。</p>	<p>「畑での活動を振り返ろう」</p> <p>「全員が喜ぶことは何かアンケートを取ろう」</p> <p>「アンケート結果から自分たちにできそうなことをやってみよう」</p> <p>○畑での活動で、自分の活動が自分の喜びや誰かの喜びにつながっていることを実感する。</p> <p>○畑の活動以外の活動も自分や誰かの喜びにつながることはないか考える。</p> <p>○全員ののためにできることを調査する。</p>	
想定される ●ジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】	<p>■育てたい野菜が夏には育たない。</p> <p>■土や草を触りたくない。</p> <p>■野菜が大きくなってきているのに、虫や鳥に食べられる。</p> <p>●仲間と意見が合わない。</p> <p>【希望と勇気、努力と強い意志・相互理解、寛容・自然愛護】</p>		<p>■ルールを守れない。</p> <p>■自分の気持ちを伝えられない。</p> <p>●仲間が遊びたい遊びと僕の遊びたい遊びが違うけどどうすればいいかな。</p> <p>【善悪の判断、自律、自由と責任・個性の伸長・親切、思いやり・規則の尊重】</p>	<p>■もっとたくさんの野菜を収穫したかった。</p> <p>●やりたいことはたくさんあるけれど、野菜の数には限りがあるな。</p> <p>【感謝、家族愛、家庭生活の充実、よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ】</p>		<p>■夏野菜と同じものは育てられない。</p> <p>■もっとたくさん、大きくなった野菜を収穫したいなあ。</p> <p>■野菜がなかなか大きくならない。</p> <p>●仲間と意見が合わないなあ。</p> <p>【希望と勇気、努力と強い意志・相互理解、寛容・自然愛護】</p>		<p>■自分の気持ちを伝えられない。</p> <p>■自分のやりたいことと仲間のやりたいことが違ってどうすればいいかわからない。</p> <p>●他学年と一緒に遊ぶ時に相手に合わせて遊ぶと自分は楽しくないけど、どうしたらいいのかな。</p> <p>【善悪の判断、自律、自由と責任・友情、信頼・相互理解、寛容・勤労、公共の精神】</p>		<p>●やりたいことはたくさんあるけれど、野菜の数には限りがあるな。</p> <p>【感謝、勤労、公共の精神、家族愛、家庭生活の充実、よりよい学校生活、集団生活の充実】</p>	<p>■どんな遊びのルールにすれば全員が喜んでくれるかな。</p> <p>■どうやったら○○できるかな。</p> <p>●困っていることを全て解決することはできない。</p> <p>【希望と勇気、努力と強い意志・感謝・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実】</p>	
人材活用 施設	<p>・担任</p> <p>・学級の仲間</p> <p>・下級生の仲間</p> <p>・川光園芸</p> <p>・にっこり畑</p>		<p>・担任</p> <p>・学級の仲間</p> <p>・身近な場所（運動場、体育館、遊戯室、教室など）</p>	<p>・担任</p> <p>・学級の仲間</p> <p>・下級生の仲間</p> <p>・家族</p> <p>・先生</p> <p>・にっこり畑</p>		<p>・担任</p> <p>・学級の仲間</p> <p>・下級生の仲間</p> <p>・川光園芸</p> <p>・5～9年生の仲間</p> <p>・にっこり畑</p> <p>・南校舎の畑</p>		<p>・担任</p> <p>・学級の仲間</p> <p>・下級生の仲間</p> <p>・上級生の仲間</p> <p>・身近な場所（運動場、体育館、遊戯室、教室など）</p>		<p>担任 学級の仲間 下級生の仲間 家族 先生 にっこり畑</p>	<p>担任 学級の仲間 下級生の仲間 上級生の仲間 家族 先生 教室 遊戯室 運動場 校舎全体</p>	
教科等との関連	<p>・国語：夏野菜図鑑</p> <p>・算数：いくつある？長さを測ろう</p> <p>・理科：夏野菜を調べよう 野菜の成長の仕方</p> <p>・図画工作：畑の看板を作ろう</p>		<p>・国語：1日振り返ろう</p> <p>・算数：いくつある？</p> <p>・図画工作：遊びの道具を作ろう</p> <p>・体育：体を動かそう</p>	<p>・国語：夏野菜図鑑</p> <p>・算数：野菜を数えよう</p> <p>・理科：夏野菜を調べよう 野菜の成長の仕方</p> <p>・図画工作：収穫した野菜を描こう</p>		<p>・国語：秋冬野菜図鑑</p> <p>・算数：いくつある？長さを測ろう</p> <p>・理科：秋冬野菜を調べよう</p> <p>・図画工作：畑の看板を作ろう</p>		<p>・国語：0日振り返ろう 招待状を書こう</p> <p>・算数：いくつある？時間を測ろう</p> <p>・図画工作：遊びの道具を作ろう</p> <p>・体育：折返しリレー</p> <p>4組の全員で遊ぼう</p>		<p>・国語：秋冬野菜図鑑</p> <p>・算数：野菜を数えよう</p> <p>・理科：秋冬野菜を調べよう</p> <p>・図画工作：収穫した野菜を描こう</p>	<p>・国語：インタビューしよう 調べたことをまとめよう</p>	

3・4年4組 単元シート	本単元の目標		
	問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
	どのような場やきまりがよいか考えることを通して、自分たちが楽しいと思える遊びを作りあげることができるようにする。	誰もが楽しいと感じるきまりや遊びの場を作る活動を行い、それを基に遊ぶことを通して、全員と協力して活動する楽しさや喜びを感じることができるようにする。	周りの仲間の意見を大切に、全員と協力して活動することを通して、全員と仲良くし、助け合うことができるようにする態度を養う。

活動の計画	「どんな遊びをしたいか考えよう」 ・クラスで遊ぶときに、全員が楽しいと思える遊びは何かを考える。 ・自分の遊びたいことと仲間の遊びたいことが違うときに相談して決める。(4)	「みんなで遊んでみよう」 ・自分たちが前回は行った遊びよりも楽しいと思えるような遊びの内容やルール、きまり、場の設定を考えて実行してみる。 ・全員の思いや願いを尊重しながら、仲良く遊ぶ。 ・遊びを行ったあとに振り返り、もっと楽しくなるためには、どうすればよいか考える。(13)	「多くの仲間を遊びに招待しよう」 ・1・2年4組が楽しいと思える遊びは何かよいかルールはどうしたらよいかを考える。 ・遊びに誘い、一緒に遊ぶ。 ・これまでの学習を振り返り、自分たちの生活に何が生かせそうか考える。(8)
加筆修正欄			
想定される姿	・自分がどんな遊びをしたいか考える。 ・仲間がやりたい遊びが分かる。 ・全員で楽しめる遊びは、何かを考える。	・全員で協力しながら、かくれがを作る。 ・全員で楽しめるように、仲間の思いや考えを意識しながら楽しく遊ぶ。 ・全員と一緒に活動することで心地よさを感じる。 ・これからもいろいろな仲間と協力して物を作ったり、一緒に遊んだりしたいと願う。	・1・2年4組も楽しめるように、相手の思いや考えを意識しながら楽しく遊ぶ。 ・4組の仲間と一緒に遊ぶことの心地よさや楽しさを感じる。 ・自分たちの考えたことが相手の喜びにつながったことに自信をもつ。
実際の姿			

● エラー ● ジレンマ	●自分と仲間の思いや考えが違い、遊び・きまり・場の意見が対立し、決めるときに葛藤する。	■1・2年生が喜ぶ遊びが分からない。
	●遊んでいるときに、自分の表現や感情を優先し、仲間と対立して仲良く遊ばずに葛藤する。	
	■自分の気持ちを伝えられない。	●他学年と遊ぶ時に自分の思いを優先して、仲良く遊ばずに葛藤する。
	■自分のやりたい遊びがあるのにそれができない。	■かくれがで作りたい形があるのにうまく作れない。
	■隠れる場所を決めるときに意見が合わずに仲良く遊べない。	

3・4年4組 本時案

(1) 目標

かくれがを仲間と協力して作って遊ぶ活動を通して、自分や仲間の願いを大切にしながら仲間の思いに寄り添うことができる。(関係構築力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

これまで仲間と関わってきた経験を基にして、自分とは違う仲間の願いも大切にしながら、かくれがを協力して作り、一緒に仲良く楽しく遊ぶ活動をする。(友情、信頼)

本時 (14/25)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	教師の手立てと見届け		
	3年A児	3年B児・4年C児	3年D児・4年E児
<p>1 前時の様子を振り返り、本時の見通しをもつ</p> <p>○前回のみんなが作ったかくれがやよかった姿を紹介しますね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入口が2つあるとどちらからも逃げられるよね。 ・段ボールを運ぶのを手伝ってくれて、嬉しかったな。 ・一緒に隠れようと言われたのが嬉しかったな。 ・意見がまとまらないときは、みんなの意見を合体させたね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなで一緒に隠られる大きなかくれがを作って遊ぼう。</p> </div> <p>2 かくれがをみんなで作る</p> <p>○みんなでかくれがを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくはこんなかくれがを作りたいな。 ・みんなの作りたくれがは、分かったけど、自分の作りたくれががいいな。 ・じゃあ、AさんとBさんの意見を合わせたかくれがを作ろう。 ・ここにもっと段ボールがいるから一緒に持って行こう。 <p>3 教室で仲間や教師と一緒に遊ぶ</p> <p>○みんなでつくったかくれがをつかって遊ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくはこっちのかくれがに隠れたいな。 ・ぼくはここがいいけど、みんなで隠れるために、場所を変えよう。 ・A君ここが空いているから、おいでよ。 ・鬼がもう来るから静かにしてね。 <p>4 本時の様子を振り返る</p> <p>○今日の様子を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時にAさんが手伝うよと言っていて優しいね。 ・一人で組み立てるより、みんなで組み立てたほうが、早くできるね。 ・ぼくはこんな形をつくったけど、Bさんのつくったかくれがはすごいな。 ・次はこんな形のかくれがも作ってみたいな。 	<p>○本時の遊びのルールを確認する。</p> <p>○本時、仲間とどのように関わればよいか見通しがもてるように、前時までの姿で、仲間と協力しようとした声掛けや行動を写真や言葉で紹介する。</p> <p>○かくれがのイメージを全員で共有できるように、どんなかくれがよいか遊びを始める前に問いかける。</p> <p>○思いを相手に伝えることができるように、表情が笑顔であったり、走ったりするなど、気持ちを行動で示したときに、その気持ちを教師と一緒に伝える。</p> <p>○仲間と協力することのよさを実感するために、仲間の願いを大切にしてくれがを作ったり遊んだりする姿、仲間にやりたいことを提案したり、仲間の声掛けに応じたりする姿を価値付ける。</p>	<p>○仲間の気持ちを大切にできるように、自分の思いを優先したくなったときには、周りにいる仲間の気持ちを想像するように促し、どうするかを教師と考える。</p> <p>○仲間と一緒に活動することができるように、仲間を誘ったり、手伝ったりする声掛けができるように教師が声を掛けるなどして促す。</p>	<p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>自分や仲間の願いを大切に、寄り添いながら協力して仲良く遊ぶことのよさを感じる。(関係構築力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力してかくれがを作ったり、仲間の声掛けに応じながら遊んだりする姿を見届ける。 <p>○思いを相手に伝えることができるよう、仲間の声掛けに、応えることができた姿を画像で示し、どんな気持ちかを聞く、必要に応じて教師と一緒に伝える。</p> <p>○仲間の気持ちを大切にすることを振り返ることができるように、それができた場面を画像で示し、そのときの気持ちを話すように促す。</p> <p>○仲間のことを誘えた姿を振り返ることができるよう、「今日は、どの場面で仲間と一緒に活動できた。」と問いかける。うまく話せない場合は、できていた場面を画像などで示す。</p>